（二十九日夕刊）

休刊　大祭日第一第三日曜

定價　一ケ月六十錢　一部二錢　郵税十五錢

廣告料　壹行六十錢指定廿錢均

福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
發行兼編輯兼印刷人　鹽沼龍輔
電話五六四番

筆のすさび

投書種々相

賣名！自己陶酔！
眞面目な創作等々

赤井嶽男

柔しき獣人

KM作

（承前）　甚吉は涙ぐむほど舜三のフレンドシップがうれしかつた、溺れるものは一ぽしの藁にも縋るのたとへ通り、甚吉は酒に寒さをふせいだ

時代逆行も甚しい
持ち込みた斷り
不景氣上塗りの惡申合せ
當業者及顧客間に非難起る

平料理屋組合に於ける酒ビール持込みた斷りの申合せが昨本紙に依つて報道されるや料理店當業者及一般顧客間に少なからざる衝動を與へ之れが當否に就き色々の批評非難が行はるゝに至つた、即ち現品の持込みは比較的低廉なる會費を以て多數の出席を必要とする宴の種の申し合せを實行する會其他豫算の豊富でない場合に於て些か變則乍ら數年來行はれて來たもので常により多くの客を吸收し度い料理店側でも大に之を誘し今や一種の慣例となつたものであるが今回の申合せは昨今の如き不況のドン底に喘ぎつゝ如何にして營業の苦境を切り拔けるかに就き必膽を碎いてゐる營業者空前の受難時代に逆行するも甚だしくさらでだに緊縮節約の折柄目に祟られともすれば宴會の減少に難澁して居る時に當り更に不景氣の上塗りをする結果を招く事になる惡申合せであるばかりか右決定は組合員全部に諮つて樹來上つたものでなく一二幹部の策動による申し合せで恰も組合全体の意思なるものゝ如く組合名によつて發表したものであると云ふ理由の下に時節柄を辨へぬ申し合せの不當と殆んど獨斷專行的の幹部の態度に對しこれによりて殃さるゝ一部營業者の反感が寄々高まりつゝある、而して同時に發表されたビール代の如き四打入一箱十七圓この一本當り三十五錢五厘弱のものを如何に儲けるのを目的の商賣とは云へ之れを六十錢に賣り付け一本より二十五錢近くの利益を見るが如きは所謂暴利を貪るも甚だしい事で先年好況時代の價格四打二十圓（一本四十一錢七厘弱）當時の單價も終に六十錢を出でなかつた事實もあり某營業者の如きは從來の五十五錢でさへ時節柄若干値下げの必要を感じてゐた矢先であつたと前記の無謀振りに呆然たる客間に少なからざる衝動を與へ之れが當否に就き色々の批評非難が行はるゝに至つた、即ち現品の持込みは比較的低廉なる會費を以て多數の出席を必要とする宴の種の申し合せを實行する會其他豫算の豊富でない場合に於て些か變則乍ら數年來行はれて來たもので常により多くの客を吸收し度い料理店側でも大に之を誘し今や一種の慣例となつたものであるが今回の申合せは昨今の如き不況のドン底に喘ぎつゝ如何にして營業の苦境を切り拔けるかに就き必膽を碎いてゐる營業者空前の受難時代に逆行するも甚だしくさらでだに緊縮節約の折柄目に祟られともすれば宴會の減少に難澁して居る時に當り更に不景氣の上塗りをする結果を招く事になる惡申合せであるばかりか右決定は組合員全部に諮つて樹來上つたものでなく一二幹部の策動による申し合せで恰も組合全体の意思なるものゝ如く組合名によつて發表したものであると云ふ理由の下に時節柄を辨へぬ申し合せの不當と殆んど獨斷專行的の幹部の態度に對しこれによりて殃さるゝ一部營業者の反感が寄々高まりつゝある、而して同時に發表されたビール代の如き四打入一箱十七圓この一本當り三十五錢五厘弱のものを如何に儲けるのを目的の商賣とは云へ之れを六十錢に賣り付け一本より二十五錢近くの利益を見るが如きは所謂暴利を貪るも甚だしい事で先年好況時代の價格四打二十圓（一本四十一錢七厘弱）當時の單價も終に六十錢を出でなかつた事實もあり某營業者の如きは從來の五十五錢で

持ち込み宴會は一番安心だ
某料理店主語る

營業者の一番望む處は勘定の早わかりする事です

持ち込みの宴會に限つて待つて呉れだの來月にして貰ひ度いだのと云はれた事がありません。高い會費でも勘定が延々になつたり倒されたりしたんでは有り難くありません持ち込み宴會は勿論利益は少いにせよ一番安心です

お斷りならやらぬ迄の事サ

憤然語るに客側持ち込みなどはなるべく少し度くないがそこがプロの悲哀である料理屋に對しても氣の毎だから一升に就て幾らと云ふ樣に手數料でも拂ふ事にしたらどうか持ち込みがいけないとすればそんな料理屋では宴會をやらぬ迄の事さ

飜雲覆雨の無定見に町民漸く關心を有つ
經費許りも大抵でない
第三校道路問題に非難

慶報平第三小學校の道路問題ではその間極めて錯綜した事情が介在してゐるらしき形跡あり今後左右の決定を見たる上本會議に附せられる事になれば委員一般町議町當局間に於ける質問辯駁等で議場は相當活氣を呈するものと豫想される

第三校道路問題は第一案に對しその後寢返り打つた一二反對者の爲道路の直通を唯一の理由とする第二案が現はれたが測量の結果之れ亦適當でないといふ事になり過日來代つて生れた第三案なるものゝ測量が徹底的飜雲覆雨の無定見振りを暴露しこれに伴ふ通學兒童の不便を懸念する關係町民の憂慮を招いてゐるが之れが爲め極めて短區間の測量に關し連日關係者總出で出動するに經費も少なからず之等は悉く町民の頭上に轉嫁されるゝ事となるので該問題の決定遷延に就ては多數町民も最近漸く可なり深入りした關心を持つ樣になつて來た、而して事の斯く迄ひ絡れて來たに就

一般通行人の便宜を圖る
架橋に奔走した三名の篤志家

平町五丁目錠前鍛冶屋業根本一郎、馬目勝一郎外一名の發起で五十圓の寄附を集め去月中江筋橋より五十間流の愛谷水門に小橋を架設したが由來同橋は以前半ば腐ち果てて居たのを七月中に施行された護岸工事で取除かれたものであるが同橋は五丁目新川町方部と六七町目を連絡する重要な通路である外平町第三校の兒童通學路とも密接な關係あるもので之れを取除かれや同方部民は一方ならず支障を感じてゐたが該通路は橋本某外小數者の家屋前を通過する爲非常に反對されたが方部便宜の爲め敢然たつて同橋を架したもので而も前記三名は架設による直接利益なく一に公德心の發露から出來上つたものである、皆食はんが爲めに働いて居るにすぎないのである

平第二小學校では今回博愛等の思想を養ひかねて健康の増進を圖る目的で尋常五年以上の兒童を以て少女赤十字團を組織する事になつた

一、赤十字事業の講話
二、災害、疾病の慰藉
三、講話會、展覽會等
四、公益事業の援助

等である

平第二小學校で少女赤十字組織
博愛心の涵養と健康增進
五年以上の團員に

ポンプ檢査
平外三署管内關係者集る

平、浪江、四倉、植田四署管内消防組では明卅日午前九時から平町新川町役場敷地に於て動力ポンプ（蒸汽技師出席檢査する筈である

自動車、ガソリンポンプ）等の試運轉をなし機械内部の檢査を行ふ由で大日本消防協會より小宮正彌外二名出席檢査する筈である

愈本日の委員會で砂利購入決定乎
失業者救濟を急ぎ
好間側で誠意を披瀝す

平上水道擴張工事に要する砂利購入委員會は昨二十八日午前九時から更に前記の顚振により協議を續行中であるが好間側では當面の失業者救濟問題が時節柄なるべく急がねばならぬ時機に際會しつゝあるのでこの際餘り金額にのみ拘泥せず平町に於ける該豫算の最大限を以て引き受ける事にし度いと云ふ處迄誠意を披瀝した

萩原　高橋　荒川（恒）
永山　綠川

の各委員に金成村長外四名の好間村代表も加はり購入價格に就て種々協議を練つたが所要數量七百立坪（外に砂三百五十立坪）を町側では一坪十九圓乃至二十圓位で購入し度い意向の處へ供給側たる好間村では二十圓見當の希望を有し此間二三圓の開きがある爲め同日中價格の歩み寄りを見る近日中採取供給に着手するものと觀測さる

石城の六農會で全國大會へ出席

帝國農會帝國農政協會主催の全國農會長大會は來月一日午前十時から東京青山會館で開催されるが郡下に於ける出席者は今二十九日郡農會長で決定した

農會長安島重三郎、江名河野義藏、勿來大平陸四郎、飯野伊藤淺之助、豊間志賀吉、泉中村立躬の六町村長

三十日縣尋正養成所卒業の十二名は二十八日夫々採用されたが石城郡内の分次の如し

石城郡神谷村箱崎八郎、石城城前今野義樹

コレドール演奏會と
舞踊の夕
天地堂蓄音器部主催
來月一日夜聚樂館で

平町三丁目天地堂蓄音器部主催のレコード大演奏會と舞踊の夕は來月一日午後六時から聚樂館に於て開催するがプログラムは次の如く

第一部第二部とも十一月の優秀な新譜なるに加へ實演に出る綺麗どころの衣裳付特にこの催しの爲別仕立を以て新調した綺麗なものを當夜の盛況を豫想されてゐる

第一部（新譜）一、軍樂朝鮮俗曲戸山學技軍樂隊
二、獨唱ドリコノセレナーデ關岸敏子、麥打の唄日本ビクター管絃楽團三箏獨奏秋の言葉宮城道雄
四、童謡キユウピーちやん平井英子、チユンチユク雀日本ビクター管絃楽團　實演童謡誦證城寺の狸囃子河野チイ子、こがねむし佐藤花子　五、映畫劇國定忠治谷天郎外數名六、漫談今樣壺坂柳家金語楼月岡初子七、映畫小唄エロ盛時代の唄嵐山小唄二三吉　實演品澤三太郎、開花亭貞丸、吉野家金太郎、立花亭千代丸八、浪花節天野屋利兵衛東家小樂燕九、萬歳深川くづし砂川捨丸十、流行唄親の心石田一松　實演民謡當地若連

第二部（新譜）實演日和り峯河野チイ子、夕やけこやけ佐藤花子一、合唱ドナヅ河の漣JOAK唱歌隊二、民謡新礎節二三吉三、新民謡民謡の旅佐藤千夜子四、筑前琵琶夜討曾我田中旭嶺五、落語ケンカ長屋柳家金語楼　實演前記に同じ六、映畫小唄カフエー新小唄佐藤千夜子、新東京行進曲四家文子七、浪花節木曾富五郎蓉々木米若八、萬歳拾丸の劍戟砂川捨丸九、俚謡相馬二遍返し岩城華城十、浪花節大石妻子の別れ天中軒雲月　實演民謡當地若連

第三部（舊譜）實演天然の美河野チイ子、ネンネンホロリ佐藤花子一、歌舞伎劇「河内山玄關先」中村吉工門一座二、喜劇落語家の兵隊柳家金語楼三浪花節壺坂霊劍記浪花亭綾太郎四、民謡木曾節三島一聲、龍侠小唄佐藤千夜子五、映畫漫談新婚箱根氣分柳家三龜松　實演民よう當地若連五、俚よう安來節、小原節國青くに子七、浪花節電雷爲工門木村友衛八、新内新内流し富士松喜昇社中九、吹奏隊陽氣な農夫コロンビヤ吹奏團　實演前記に同じ

投槍
歡投稿迎

我が農村青年に

我と同じに野に働く青年ないもう農家はやみである我等青年はとの田舍に生れて何を樂しみませう年に一度か二度の村祭に一年の苦められて居る其の上野菜を賣れば本當の小使にしかならない、米もその通り十三圓といふ有樣である稅金は高くなるばかり安くはならない

◇

其れに稅金は寢ても起きても座つても皆稅金に苦しめる事が出來るではないか

◇

全く農村青年は勞役場生活と同樣で都會人に比すれば全く慘酷である、其れかかへる、選擧資格の年齢の低下を斷行し婦人參政權は絶對廢して町村役場の事務を復雜にさない方が良いではないか、我等農村青年を今少し救濟されたいものである（夏井村T生投）

◇

農村青年は斯の如きを考へれば到底仕事に手がつかないのである

◇

あゝ我等樂しい秋が來たとも云へ又苦しい秋が來たとも云へたが些か面白くないので更にかけ直す以前一寸「○○は××番でせう」と訊ねた

◇

彼等は毎日遊んで金を取つてゐるではないか斯の如く上流社會は苦勞といふものは一つ無いではないか、

◇

あゝ我等樂しい秋が來たなんでした」丈けで終はつい

◇

處が局の方では百も承知の事であり乍ら自分の誤つた交換を掩はんが爲めのテレ隠しから「どうですか五百番へ繋ぎます」と巧みに追窮を逃れて當意即妙の責任廻避を試みた。その爲無用な一二の應答もせねばならなかつた

◇

自分は寧ろ電話事務員に對する同情者の一人であるがこんな事をされると面白くない氣持ちがする

（平町KT生投）

當意即妙の責任廻避
電話事務員諸嬢に

◇自分は今日の正午頃感る蕎麥屋へ註文の電話をかけた處が出た相手は某鐵工場だつたので少からず面喰らつた、幸ひ「相濟みません

落合町落合小谷番引地松本榮子（二二）樋太榮濱郡落合南十六線東十八北海道貞尻郡奥尻村釣懸茶津二一菓子商鈴木茂一（二八）平町長橋町三八湯本町岡船板木作四一竹島友枝（三二）平町田町五六竹島リル（二五）

▲死亡
平町材木町四松石サカエ（三二）

明日　舊九月　新十月
吉の日　凶日
暦九日　暦十三日

落合町落合小谷番引地松本榮子（二二）樋太榮濱郡落合南十六線東十八北海道貞尻郡奥尻村釣懸茶津二一菓子商鈴木茂一（二八）平町長橋町三八湯本町岡船板木作四一竹島友枝（三二）平町田町五六竹島リル（二五）

▲死亡
平町材木町四松石サカエ（三二）

▲一白の人　上下の意を取捨に迷ふ日舊來の業は盛に向▲二黑の人　滯りなく物事すら〳〵と進む日但口舌注意▲三碧の人　一時的の巨利を夢るは凶常業は順調に進む▲四綠の人　來れる好運を取逃さぬ樣油斷なく勵むべし▲五黄の人　奮起勉勵すべし引込思案を守る時にあらず▲六白の人　位置高くして心の落付かざる日飲食も注意▲七赤の人　焦り心の生ずる日進むには十分注意すべし▲八白の人　願望成就する日人より持込まるゝ事利益化す▲九紫の人　運氣定まらず吉凶交至るの日内に守が安全

平町田町
高久病院
電話五一三番

平町人事
△婚姻
平町白銀町九樺太榮濱郡

第三回
十一月三日午前八時磐中校庭
常磐炭礦
聯合陸上
競技大會
古河。磐城。入山
各炭礦出場

嚴冬征服の王者

◉ストーブハフクロク、ストーブヲ御選定下さい
一、最モ安イ石炭デ最モ良ク燃エルストーブハフクロクノ右ニ出ヅルモノハアリマセン。
二、石炭商ノ立場ヨリ各種ノストーブヲ嚴密試驗ノ結果始メテ理想的フクロク。ストーブヲ見エ出シマシタ。
御希望ノ御方ヘカタログヲ持參シテ御説明申上マス何卒御下命ノ程ヲ
平停車場前
福島縣總代理店
阿部石炭商店
電話一二三七番

黑小倉學生服
今年はウンと安くなりました
型も新らしく裁縫も丈夫に
皆樣にホメて頂ける自信ある
冬服を……澤山揃いました。
特製品　小學生用　最やはんつき　2圓00錢より
特製品　中學生用　3圓00錢より
あかや洋服店
平二　電203

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅鐵
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は釜の生命なり

平新川町十九
木村病院
電話一六四
産婦人科
院長木村寅次郎
内科
整形外科
藥局
女醫　木村コウ
醫學士　松永憲一
東京藥學士　萩原駿二